

『おーい』 作…ポチ子

女 「おーい、そこのおんなあああ」

【大声で遠くから叫ぶ女。それを無視して歩く就活生。】

就活生「・・・。」

女 「おーい！無視すんなー。そここの髪を後ろに結んだ、芋くさ

就活生ええー！」

就活生「・・・。」

女 「ちっ。ふー…、日驩大学4年！兎玉美奈子！体重は5…。」

就活生「ちよつとやめてください！何なんですか！」

女 「あ、やっどこっち見た。」

就活生「警察呼びます。」

女 「ちよつと待って！怪しいもんじゃないから！」

就活生「怪しいです！こんな昼前から大声で人のこと呼んで！しか

も、私の名前なんで知ってるんですか！」

女 「だって、あんただもん私いい！」

就活生「は？」

女 「未来から来た私ですうう！」

就活生「・・・やっぱおかしい。」

女 「いや、ちょっと待ってってば！今から警察呼んだら、午後からの面接間に合わないよ！」

就活生「なんで、面接のことっ」

女 「だから言ってるじゃん！あんただってえええ！」

就活生「・・・っていうか、さっきからなんで遠くから大声で叫んでるんですか！近くに來ればいいじゃないですか！」

女 「そういう約束でこっち來てるからさああ、ごめんねえええ！」

就活生「はあ？約束？」

女 「ちよつと私に伝えたいことがあってさあああ！」

就活生「伝えたい事？」

女 「そうとうう！あんた、今、就活で病んでるでしょおお！」

就活生「・・・っ・・・。」

女 「あのねえええ！病んでる今から、さらに就活面接落ちまくるから、覚悟しとけよおお！」

就活生「は？」

女 「それと、就活も失敗して、給料悪いし、人間関係も悪い職場に就職するよおお！」

就活生「は、ちよつと！」

女 「それに仕事も出来なくて、やばたんだよおお！」

就活生「ちょっと待って！」

女 「ん？」

就活生「伝えたい事って、それ？」

女 「なにいい？聞こえなーい！」

就活生「すーっ、伝えたいことってそれ！？！？」

女 「うん！！！」

就活生「へ？何のために？そんな話聞きたくないんだけど！」

女 「聞きたくないって言っても、そうなるだから仕方ないじゃん！」

就活生「そうなる未来を変えるために来たとかじゃないの！？」

女 「いや、変わらない変わらない！これを含めての未来なんだからさ！！」

就活生「はあああ？んじゃ、ほんとに何のために来たの！自分をか
らかうため？DMかよ、私！」

女 「ふうー。私、面接落ちまくるし、就活失敗するし、仕事もできないけど！！頑張ってるからさああ！だから、大丈夫だよおお、あたしいい！！それだけ言いに来たの！！ほんと、それだけ！！満足した！がんばれよ、あたし！じゃあね！！お元気で！！」

【走り去る女。周囲の目線は就活生に集まっている】

『おーい』 作：ポチ子

就活生「・・・はっ、何それ？・・・はっ、ふふ。」

【就活生、ほほえむ】